

地歴 問

地理歴史等

平成 29 年度 (前期日程)

注 意 事 項

- 1 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は 1 冊(本文 24 ページ、下書用紙 2 枚)で、解答用紙は 1 枚です。下書用紙は問題冊子の中に挟み込んであるので、引き抜いて使っても構いません。なお、問題冊子と下書用紙は持ち帰って構いません。
- 3 すべての解答用紙に受験番号を書きなさい。なお、受験番号は、次の要領で明確に記入すること。

(例) 受験番号 50001 番の場合 →

5	0	0	0	0	1
---	---	---	---	---	---

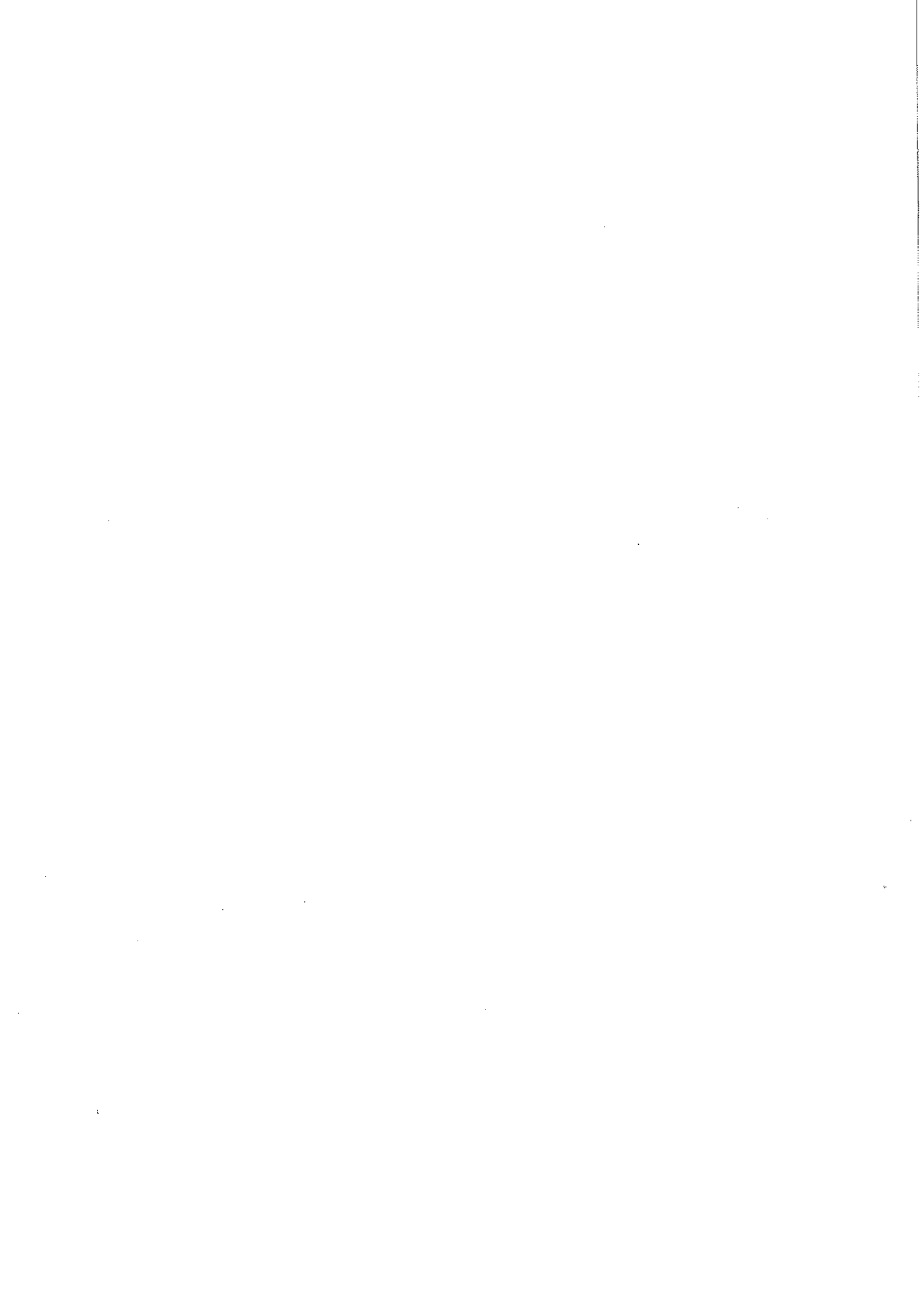
- 4 1) 世界史, 2) 日本史, 3) 地理, 4) 倫理, 政治・経済, 5) ビジネス基礎, 以上 5 科目のうちから 1 科目を選んで答えなさい。さらに選択科目の番号を受験番号の隣の欄に書きなさい。

(例) 2) 日本史を選んだ場合 →

					2
--	--	--	--	--	---

- 5 解答は、解答用紙の所定の位置に横書きで書きなさい。他のところに書いても無効になることがあります。

また、字数などの指示がある場合は、その指示に従って書きなさい。なお、字数制限がある場合、算用数字及びアルファベットに限り、1 マスに 2 文字入れることができます。それ以外の句読点や問題番号には 1 マスを使用すること。ただし、例えば「問 1」ならば「1」とのみ書いても構いません。



世 界 史

I 16世紀半ばに書かれた次の文章を読んで、問いに答えなさい。

あらゆる商品の価格は、その必要性が非常に高く、かつ提供される量が少ないときには上昇する。貨幣もまた、それ自体で売買され、かつあらゆる契約取引の対象となる以上は一つの商品であり、したがってその価格は貨幣の需要が大きく供給が少なければ上昇する。また、貨幣が不足している国では、貨幣が豊富にある国よりもあらゆる商品や労働が安価に提供される。実際にフランスではスペインよりも貨幣の量が少なく、パン、布、労働力の値段がスペインよりもはるかに低い。またスペインでも、貨幣の量が少なかった時代には、インド[新大陸のこと]の発見によって国中に金銀があふれた時代よりもはるかに安い値段で商品や労働が提供されていた。

(マルティン・デ・アスピルクエタ『微利明解論』(1556年)より引用。但し、一部改変)

問い この文章中で述べられている現象が、スペインの盛衰、および16～17世紀のヨーロッパ経済に与えた影響について論じなさい。(400字以内)

II 黒人奴隷制に関する次の文章を読んで、問いに答えなさい。

ユネスコが1994年に奴隷貿易、奴隷制の記憶を掘り起こす「奴隷の道」プロジェクトを開始して以降、21世紀に入り、環大西洋世界の奴隷貿易に再び注目が集まっている。国連総会では、ハイチ革命 200周年にちなみ、2004年を「奴隷制に対する闘いとその廃止を記念する国際年」^①とすると宣言され、また1807年に世界に先駆けて奴隷貿易を禁止したイギリスでは、200周年を前に首相が「遺憾の意」を表明した。

下の表は、16世紀以降の環大西洋圏の地域別奴隷輸入数を示したものだが、従来、大西洋奴隷貿易は、英仏などヨーロッパ諸国を起点にアフリカとカリブ海域を結ぶ、主に北大西洋で展開された三角貿易に関心が向けられてきた。だが、表からもわかるとおり、最も多くの奴隷を輸入したのはポルトガルの植民地、ブラジルであり、近年の研究では、ラテンアメリカ地域、とりわけブラジルとアフリカを直接結ぶ南大西洋の奴隷貿易^②について、その独自のメカニズムに関心が集まっている。

	ヨーロッパ	英領北米	蘭領カリブ	デンマーク領カリブ	英領カリブ	仏領カリブ	スペイン領	ブラジル	アフリカ
1501～1600	700	0	0	0	0	0	170,400	29,200	0
1601～1700	2,990	15,100	124,000	18,000	311,300	38,400	225,600	782,200	3,200
1701～1800	5,320	297,600	294,700	68,600	1,811,800	996,400	146,000	1,990,700	2,300
1801～1866	0	78,360	25,000	22,000	195,100	86,100	753,500	2,061,380	149,900
	9,010	391,060	443,700	108,600	2,318,200	1,120,900	1,295,500	4,863,480	155,400

(表) 環大西洋圏の地域別奴隷輸入数(1501～1867年)

David Eltis and David Richardson, *Atlas of the Transatlantic Slave Trade*

(New Haven: Yale University Press, 2010)より作成。

問 1 15 世紀末にスペイン、ポルトガルの両国が定めた、支配領域の分界線を定めた条約を何というか。

問 2 下線部①にあるハイチ革命を契機に、南北アメリカ大陸における奴隷貿易廃止、奴隷解放の流れは加速した。最後に奴隷制が廃止されたのは、最も多くの黒人奴隷を受け入れてきたブラジル(1888 年)であった。この 19 世紀の南北アメリカ大陸で達成された奴隷解放の歴史のなかで、ハイチとアメリカ合衆国の二つのケースだけは、他とは異なる特徴があったが、それはどのようなものだったか簡潔に答えよ。(100 字以内)

問 3 下線部②にあるラテンアメリカ地域では、1810~20 年代に多くの国々が独立した。その独立運動は、いかなる契機から始まり、どのような人々により担われ、独立後にはどのような経済政策がとられたのか。また、このラテンアメリカの独立運動のなかで、ブラジルの独立にはどのような特徴があったのか、述べなさい。(275 字以内)

Ⅲ 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

われわれが海を渡り、最初に到着した町はザイトゥーンの町であった。そこは壮大にして、規模の大きな町であり、カムハー織り(錦紗)やピロード織りの布地(緞子)がそこでは製造されており、それらはその町に由来する名で知られている。その布地は、ハンサー織りやハンパーリク織りよりも上等である。

そこの停泊港は、世界の数ある港のなかでも最大規模の港の一つ、否、間違いなく最大のものであり、私は実際にその港で、約100艘の大型ジャンクを見た。さらに小型船に至っては、多くて数え切れないほどであった。そこの港は陸地に入り込んだ海からの大きな入江で、やがてその海は大河と混じり合う。この町は、他のすべてのシナ地方と同じく、住民のための果樹園、田畑と屋敷が町の真ん中にあつて、ちょうど、我が国のスィジルマーサの町とよく似ており、他ならぬこのために、彼らの町は規模が大きくなっている。

(イブン・パトゥータ著、家島彦一訳注『大旅行記7』より引用。但し、一部改変)

問い ザイトンとも称されたザイトゥーンの都市名を漢字で答えた上で、当該都市を取り巻く11～13世紀の国際関係を論じなさい。(400字以内)